

ここにあっては
はずなのに？

ちゃんとバックアップしたはずなのに・・・？

これまでも何度か、大切なデータのバックアップについてお知らせしてきました。「ちゃんと定期的にバックアップしてるよ」という方が多いはずですが、バックアップデータは何処に保存していますか？バックアップデータの中身を確認したことはありますか？バックアップは単に取れば良いという物ではなく、後でちゃんと使えなければ意味がありません。「あれ？データがなくなってる」と言うことの無いように気をつけましょう。

形あるものはいつかは壊れる・・・

「バックアップは別の記録メディアに取る」のが基本です。すぐに必要になるファイルなら外付けHDD、長期保存するならCD-RやDVD-Rと、バックアップする記録メディアを使い分けている方もいるはずですが。保存スペースを考えてUSBメモリやSDカードなどのフラッシュメモリにバックアップを取っている方もいるかもしれませんね。でも、気をつけてください！形あるものはいつかは壊れます。パソコンや記録メディアも例外ではありません。突然HDDが認識しなくなったり、メモリカードが読めなくなったり・・・。苦勞して作成した資料や、思い出の写真データ、大切なバックアップデータも、一瞬にして消失してしまいます。そんなことが無いように、記録メディアの特性を理解して利用しましょう。



外付けHDD 衝撃は厳禁！

大容量でコストパフォーマンスに優れた記録メディアです。しかし取扱いは一番慎重にならなければいけません。**HDDの一番大敵は「衝撃」です。**精密機械のHDDは衝撃には大変弱く、縦に置いてあったものが、ボタンと倒れただけでも壊れる可能性があります。もし縦置き型をお使い場合は、倒れないように支えるものを横に置くなどの工夫をしましょう。



フラッシュメモリ 長期間放置に注意！

USBメモリやSDカードなど、電源が無くてもデータを保持するメモリです。衝撃にも強く扱いやすく、旅行の度にメモリカードを買い足して、そのままバックアップ代わりにデータ保存している方はいませんか。実はこのフラッシュメモリにも寿命があります。一般的な使用方法では、寿命を心配することはありませんが、**放置しておくとも5年から10年でデータが消えてしまう可能性があります。**いつの間にか旅の思い出が無くなっているかもしれませんので気をつけましょう。



CD、DVD、BD 日光を避けてケースを立てる

価格も記録容量も様々な光ディスクですが、気をつけるのは保存方法です。CDは記録層がレーベル面のすぐ下にあるので、レーベル面にボールペンで強く字を書くと記録層を傷つけてしまう恐れがあります。また光ディスクはどれも、記録面の指紋や汚れ、傷に弱いので、取り扱う時は縁の部分を持つようにしましょう。保存は**紫外線の当たらない場所に、ケースに入れて、立てて置きます。**なるべくゆがみを起こさないためです。



FD、MO ドライブが無くなる前に！

フロッピーディスク（FD）の寿命は10年と言われていたますが、カビや埃に弱く、10年未満でも読めなくなってしまう場合もあります。またMOは50年以上大丈夫と言われていたますが、MOドライブの入手が困難になりますので、**今の内に別の記録メディアに移し替え**しておいた方が良いでしょう。



ルールを決めて人的ミスを減らそう！



大切なデータが無くなる原因は、パソコンや記録メディアのせいばかりではありません。うっかりミスによるデータの削除や上書きも多いはずですが。そんな事がないように、**日頃からフォルダやファイルの整理**しておく事が大切です。大切なデータだからと、あちこちにコピー（バックアップ）すると、どれが原本か分からなくなり、間違って原本を削除してしまうかもしれません。共有ファイルの扱いについては**社内でのルールを決めておく**事も大切です。「原本」「作業履歴」「最終ファイル」のように、フォルダ分けなどで、人的ミスを少なくしましょう！



削除したデータの復元？

作業中にうっかりミスで大切なデータを削除してしまうことも、知識があれば、ある程度防ぐことができます。「削除したら、ごみ箱から復活させればいいじゃん！」と思っている方、それは考えが甘いですよ。

USBメモリをよく使う方は、**USBメモリ内のファイルを削除すると、「ごみ箱」には残らない**ことはご存知ですよね。通常、ファイルを削除すると、「ごみ箱」に移動され、ごみ箱を空にする前なら、ごみ箱から戻すことができます。しかし、**USBメモリ内のファイルは、ごみ箱には残らず、すぐに削除されます。**「確かごみ箱にあったはず・・・」と探してみても、もう後の祭りです。USB接続のHDDの場合も、ごみ箱を素通りして削除されてしまいます。ファイルの削除に迷った時は、一旦内蔵HDDに移してからごみ箱に入れるなどの対処で解決します。



LAN接続のHDD(NAS)では、ごみ箱機能があるものが多いので、この機能をONして使用する事で、うっかりミスの削除を防げます。

最後の手段はデータ復元ソフト

どれだけ気をつけていても、操作ミスによるファイルの削除は起こりえます。ごみ箱にも残っていない時は「**データ復元ソフト**」でデータを救う手段があります。とは言っても、なんでもかんでも復元できるかと言えば「No」です。削除してから時間が経てば経つほど復元できる確立は低くなります。これは残っているデータに新しいデータが上書きされる確立が高くなるからです。「データ復元ソフト」によって復元能力（対応ファイル）が違いますので、購入の際は対応ファイルをチェックしてみてください。



「データ復元ソフト」でもダメな場合は、データ復旧の専門業者に頼むこととなりますが、数万円、場合によっては数十万円の費用を覚悟しなければなりません。

操作ミスでのデータ削除も、記録メディアの破損や消耗によるデータの消失も、知識や情報があれば、防げることがあります。

データの容量にもよりますが、長期保存のバックアップデータの場合、光メディア（CD、DVD等）に取り、定期的書き換えする方法が、コスト的にも良さそうです。みなさんも記録メディアの特性に気をつけて、大切なデータを消失から守ってください。

開発室から

自宅のインターネット回線を変更しました。今までは100MbpsのBフレッツでしたが、今度はハイスピードタイプの200Mbpsです。でも速度が全然変わりません。よく考えると、家のルータやハブは上限が100Mbpsでした。なんだかんだと追加の投資が必要みたいです。